

まちのできごと

チャレンジ!!2016

藤里町少年教室開校式

今年度の藤里町少年教室開校式が7月22日に開催され、受講する104名の小中学生が出席しました。

今年度の少年教室は、上若コースに17名、志茂若コースに19名、壮士舞コースに6名、高山太鼓コースに6名、将棋コースに11名、切り絵コースに13名、茶道コースに13名、絵手紙コースに1名、書道コースに1名、英語コースに18名、さらに今年度より新設された素波里貉コースに2名、陶芸コースに25名、雑誌作りコースに4名の児童生徒が受講します。



講師のみなさんを紹介

10月29日、30日に開催される町民祭で作品展示や芸能発表を行い、受講の成果をお披露目する予定です。

駒踊りとモダンダンスの

コラボレーション

7月22日、町民体育館において、「地

域伝統芸能とモダンダンスのコラボレーション」公演が行われ、約400人の観客を魅了しました。

この公演は、県委託事業の日韓学生交流伝統芸能プロジェクトの一環で、韓国芸術総合学校舞踏院のナム・ジョンホ教授と学生たちが「藤琴豊作踊り」を学び、それをもとに新しいモダンダンス作品を制作、披露する試みで開催されました。

町からは、上若郷土芸能保存会と志茂若郷土芸能会の男性5名が参加。上若の安保光さん(川反町)は「駒踊りの要素を取り入れながらダンスを創作する中で、戸惑いながらも、みんなで良い振り付けが加えられた。一生に一度の経験をさせてもらいました。」と感想を述べられました。



大きな拍手がよせられました

生涯現役のまち実現へ

町社会福祉大会

7月30日、総合開発センターにおいて、藤里町社会福祉協議会(菊池まゆみ会長)

による第41回藤里町社会福祉大会が開催され、約300名の関係者、町民らが「福祉でまちづくり」のメインテーマのもと、「生涯現役のまち」の実現を誓い合いました。

本大会では、はじめに菊池会長より昨年度から取り組みを進めている生涯現役事業について説明が行われ、新設する人材バンク「プラチナバンク」への積極的な参加が呼びかけられました。その後、佐々木町長など来賓よりあいさつが述べられたの続き、秋田放送アナウンサー佐藤美知子さんによる「いつも心に太陽を」と題した講演が行われました。

体験発表の部では、小中学生が「協力してくれる方へ感謝の気持ちを忘れない」、「たくさんの『心が通う楽しい時間』を分かち合えるよう、地域とのつながりを大切にしていきたい」などボランティア活動を通して感じたことを発表しました。一般の体験発表では、福司満さん(琴町)が生涯現役への想いを語られ、参加者は思い思いに耳を傾けていました。



佐藤美知子氏による講演

《地域おこし協力隊 鈴木隊員より一言》

藤里町地域おこし協力隊に着任しました鈴木幸雄と申します。メーカーに技術者として勤めたあと、青年海外協力隊に参加し、今度は藤里町の地域おこし協力隊として活動することになりました。

ここ藤里町に来る前は愛知県の沿岸部にいました。蒸し暑いところから脱出できるぞと思って秋田に来たら、ずいぶん暑く予定が狂ってしまいました。夏は暑く、冬は大雪な所に来てしまい、これからどうなることやらと生活自体を楽しみ!?!にしています。のんきな私ですが、どうぞよろしくお願ひします。

